

株主のみなさまへ

第85期 中間事業ご報告

自 2023年4月1日 至 2023年9月30日

トップメッセージ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、2022年度よりスタートした5か年計画「第7次中期経営計画」において、「収益モデルの進化」・「経営効率の向上」・「経営基盤の強化」の3つの経営方針を掲げ、持続的な成長モデルの実現に向け、海外事業とストック事業の拡大やDXによる顧客体験価値向上等、さまざまな高付加価値提案や施策を積極的に推進してまいりました。以上の結果、当中間期における売上高、営業利益、親会社株主に帰属する中間純利益は、以下の通りとなりました。

引き続き、ポートフォリオ経営の推進と新規事業への挑戦、海外事業1兆円に向けての事業進展、グループ集中購買による原価抑制の実現を強化してまいります。そして、“将来の夢”（パーパス）で掲げている「再生と循環の社会インフラと生活文化の創造」に向けて、社会的価値の創出と事業価値の最大化を両立させ、持続的な成長を実現してまいります。特に、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、温室効果ガス（GHG）排出量を「減らす」、再生可能エネルギーを「増やす」という2つのKPIを明確にしており、企業収益と環境負荷低減の両立を目指し、第7次中期経営計画重点戦略の1つであるカーボンニュートラル戦略（エンドレス グリーン プログラム 2026）を実践してまいります。

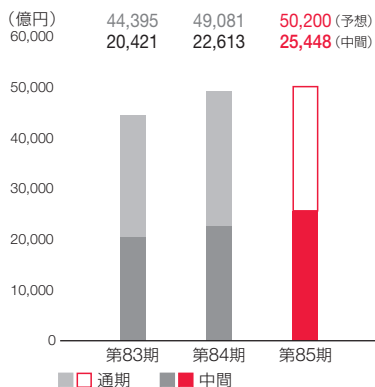
株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



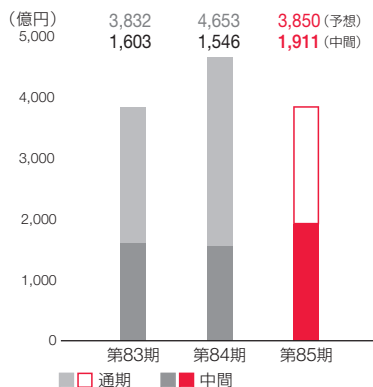
代表取締役社長

芳井 敏一

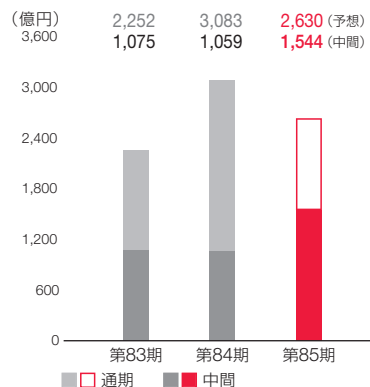
売上高(中間) **2兆5,448億円**
(前期比 12.5%増)



営業利益(中間) **1,911億円**
(前期比 23.6%増)



親会社株主に帰属する
中間(当期)純利益 **1,544億円**
(前期比 45.8%増)



注1:記載金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

注2:連結業績予想は、本「株主のみなさまへ」の作成日現在におきまして入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。今後実際の業績は、金融市場の動向、経済の状況、競合の状況や地価の変動の他、さまざまな要因によって大きく異なる可能性があります。

大和ハウスグループの“将来の夢”



ミライマチ宣言

注：上記は九州エリアのイメージです。

生きる喜びを分かち合える世界の実現に向けて、
再生と循環の社会インフラと生活文化を創造する。

“将来の夢”の実現に向けて、当社では、全国にある事業所・工場ごとにステークホルダーと共にそれぞれの地域でどのような“未来の景色”を創り出したいのかについて対話を重ね、「ミライマチ宣言」を策定いたしました。

ミライマチ宣言の実現に向けて、今年度は、具体的なアクションプランを策定し、活動をスタートいたしました。

私たちは、「共創共生」を基本姿勢として、事業所・工場と地域が一体となって創りあげていく活動を推進してまいります。

ミライマチ宣言

➔ <https://www.daiwahouse.co.jp/sustainable/social/contribution/miraimachi/index.html>



大和ハウスグループトピックス

「響灘火力発電所」の経営権を取得し、再生可能エネルギーとなる バイオマス専焼発電所へ転換します

当社は、「第7次中期経営計画」において、“カーボンニュートラルの実現”をテーマとしており、その1つとして再生可能エネルギー供給量の拡大を掲げております。2026年度には累計1,550MW以上、2030年度には累計2,500MW以上の再エネ供給施設を自社運営し、広く社会にクリーンなエネルギーを供給することを目指しております。

そのような中、当社は、株式会社響灘火力発電所の経営権を取得し、当社グループ会社といたしました。同社が運営する「響灘火力発電所」では、現在、石炭とバイオマス燃料（木質ペレット）の混焼による発電を行っていますが、バイオマス燃料を100%利用したバイオマス専焼発電所へ転換し、2026年4月の運転開始を目指してまいります。



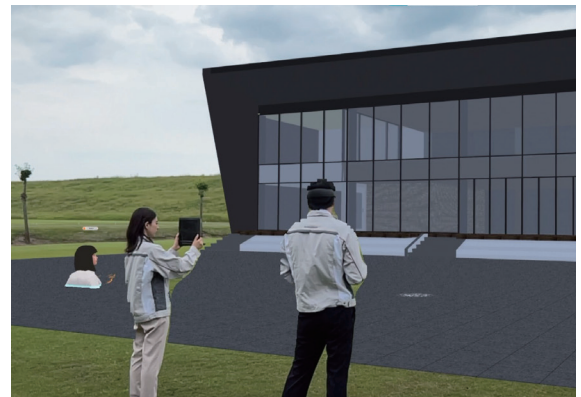
響灘火力発電所

「D's BIM ROOM(ディーズビムルーム)」開発

大和ハウスグループの3社(大和ハウス工業株式会社、南国アールスタジオ株式会社、株式会社トラス)は、BIM^{*1}を使用して作製した、商業施設や事業施設などの建物の3次元(3D)モデルを、XR^{*2}技術を活用することで、メタバース(仮想空間)「D's BIM ROOM(ディーズビムルーム)」として可視化させる技術を開発いたしました。

「D's BIM ROOM」のポイント

1. 計画する建物の建設予定地で実寸大の外観イメージや色味などをリアルに近い形で体験可能
2. いつでもどこでもメタバース内で打ち合わせが可能
3. メタバース上で色味や建材を決めることも可能



建設予定地に3Dモデルを投影・確認

*1 デジタルモデリングを使用した、初期設計から建設、保守、最終的な廃棄に至るまでの建築資産のライフサイクル全体にわたる情報管理の仕組み。

*2 AR(拡張現実)、VR(仮想現実)、MR(複合現実)といった現実世界と仮想世界を融合する表現技術の総称。

「D's BIM ROOM」体験イメージ

➔ https://nangokrstudios.jp/wp-content/uploads/2023/08/Daiwa_PV2_v0.5.mp4



1 木造新商品 「xevo BeWood(ジーヴォビーウッド)」

xevo BeWood



木造新商品「xevo BeWood」は、お客さまへの提案バリエーション拡充とカーボンニュートラルの実現の両立を目指し、今年度より発売いたしました。外観は、シンプルなナチュラル・フラット・エレガントの3つからお選びいただけます。オリジナルのBOITH工法(軽量モルタル塗りによる外張り外壁通気工法)の採用により「塗壁・目地詰めタイル」といった表情豊かな外観表現が可能です。また、適切な間取りや設備の採用により、エネルギー収支ゼロの「ZEH*基準」もクリアしております。

※ ZEHは、高断熱・省エネ・創エネによって、年間の一次エネルギー消費量の収支ゼロを目指した住まい。

2 快適防音室・快適静音室 「音の自由区」

ダイワハウスの快適防音室と静音室

音の自由区



快適防音室「奏でる家」

「音の自由区」は、「音を自由に、音から自由に」をコンセプトに、防音仕様の異なる3つのグレード(快適防音室「奏でる家+(プラス)」「奏でる家」、生活音を減音する快適静音室「やすらぐ家」)を用意し、2023年4月より提案を開始いたしました。

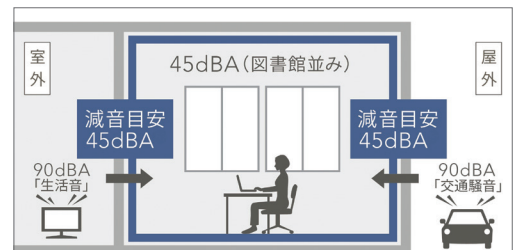
「奏でる家」は、自宅で音楽を楽しみたいお客さまのために、室内の心地よい響きと外部への遮音を両立させた戸建住宅向けの防音室です。

「やすらぐ家」は、子どもの学習部屋、テレワークルーム等として活用したいお客さまのために、防音外壁や防音窓を導入することで、屋外の交通騒音や室外の生活音などを45dBA減音(目安)*1し、図書館並みの静けさ*2を実現いたしました。

また、2023年9月に「やすらぐ家」は、特定非営利活動法人キッズデザイン協議会が主催する「第17回キッズデザイン賞」の「子どもたちを産み育てやすいデザイン部門」において、優秀賞「こども政策担当大臣賞」を受賞いたしました。



快適静音室「やすらぐ家」



快適静音室イメージ

※1 dBAは、人の感じる音の大きさを表す単位。数値は当社で測定した数値(JIS A 1417:2000建物内の空気音遮断性能の測定方法に基づく)ですが、性能値として保証するものではなく、使用状況や周辺の環境、間取りなどにより異なる場合があります。

※2 音の感じ方には個人差があります。

当社戸建住宅商品の資料請求はこちら

➡ https://www.daiwahouse.co.jp/catalog/regist_ctlg.asp



株主・配当の状況

| | |
|----------|----------------|
| 発行可能株式総数 | 1,900,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 659,351,820株 |
| 株主数 | 74,197名 |
| | (2023年9月30日現在) |

株主還元の考え方について

当社は、事業活動を通じて創出した利益を成長分野へ投資し、1株当たり利益 (EPS) を増大させることで株主価値向上を図ることを株主還元に関する基本方針としております。

配当性向につきましては、親会社株主に帰属する連結当期純利益の35%以上として業績に連動した利益還元を行い、かつ安定的な配当の維持に努めてまいります。また、第7次中期経営計画期間の対象年度においては、年間の1株当たりの配当金額の下限を130円としております。

また、自己株式の取得につきましては、市場環境や資本効率等を勘案し、状況に応じて機動的に実施することといたします。

なお、2023年5月31日に700万株の自己株式を消却のうえ、2023年6月1日から2024年3月29日までに1,000万株または350億円を上限として自己株式を取得することを取締役会で決議しております。

自己株式の取得状況については、法定開示および当社ホームページのニュースリリースにて開示しております。(2023年10月31日までに取得した自己株式の累計: 1,919,900株、7,156,230,102円)

配当の状況

| | 1株当たりの年間配当金 | | |
|----------|-------------|--------|------------|
| | | 中間 | 期末 |
| 2024年3月期 | 140円00銭(予定) | 63円00銭 | 77円00銭(予定) |
| 2023年3月期 | 130円00銭 | 60円00銭 | 70円00銭 |
| 2022年3月期 | 126円00銭 | 55円00銭 | 71円00銭* |

*うち創業者 故 石橋信夫生誕100周年記念配当10円。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新の情報を随時発信しておりますので、是非ご覧ください。

IR情報ウェブサイト

企業情報、業績、決算資料、事業概要などをタイムリーかつ網羅的に紹介しております。

➡ <https://www.daiwahouse.co.jp/ir/>



統合報告書2023

中長期的な企業価値向上を目指す当社グループの取り組みを紹介しております。

➡ <https://www.daiwahouse.co.jp/ir/ar/>



株主メモ

| | |
|-----------------------|--|
| 社名 | 大和ハウス工業株式会社 DAIWA HOUSE INDUSTRY CO., LTD. |
| 本社 | 大阪市北区梅田三丁目3番5号 |
| 資本金 | 161,957,152,677円 |
| 社員数(連結) | 49,292名(2023年9月30日現在) |
| 決算期 | 毎年3月31日 |
| 基準日 | 3月31日 |
| 定時株主総会 | 3月31日 (その他必要があるときは) |
| 期末配当 | 3月31日 (予め公告する一定の日) |
| 中間配当 | 9月30日 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主名簿管理人 (特別口座管理機関) | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 |
| の郵便物送付先 | 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| および電話照会先 | フリーダイヤル 0120-782-031 受付時間 9:00~17:00(土・日・休日を除く) |
| 上場証券取引所 | 東京 |
| 証券コード | 1925 |

株式に関する諸手続きについて

- 当社株式に関する諸手続き(住所変更、姓名等の変更、単元未満株式の買取・買増の請求等)につきましては、株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。
- 特別口座に記録された株式に関する諸手続きにつきましては、上記特別口座管理機関(三井住友信託銀行株式会社)にお申し出ください。
- 未受領の配当金につきましては、上記株主名簿管理人(三井住友信託銀行株式会社)にお申し出ください。

株主総会資料の電子提供制度のお知らせ

2023年3月以降の株主総会より、株主総会資料(招集ご通知)はウェブでのご提供が原則となりました。従来どおり事業報告等を含めた株主総会資料一式を书面で受領することをご希望の場合は、株主総会の基準日(定時株主総会の場合は、毎年3月31日)までに書面交付請求を行っていただきますようお願いいたします。

書面交付請求に関するお問い合わせ先

三井住友信託銀行 証券代行部 0120-533-600

受付時間 9:00~17:00(土・日・休日を除く)

➡ <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/kaisyahou>



QRコードから誘導されるサイトについてのご注意

- 紙面に掲載のQRコードを、スマートフォンやタブレット端末で読み取ってください。
- 各サイト上のコンテンツやURLを予告なく変更もしくは削除することがあります。
- QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

大和ハウスグループの経営のシンボルである「エンドレスハート」は、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

© Copyright 2023 DAIWA HOUSE INDUSTRY CO.,LTD. All rights reserved.

森林育成紙™使用